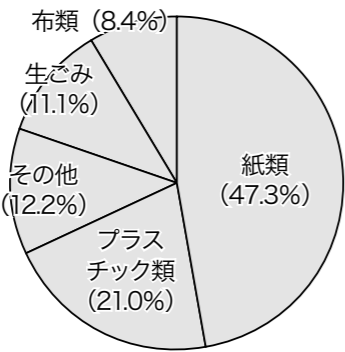


『ごみの質』調査の結果から
 エコパーク寒川には、さまざまなもえるごみが搬入されていますが、下記のグラフは、もえるごみについてエコパーク寒川で実施している「乾燥させた状態のごみ質調査」の結果です。
 内訳は紙類が約半分、次いでプラスチック類と、資源物が占める割合が非常に高くなっています。また、生ごみの11%も乾燥させた状態での割合であり、乾燥前では何倍にもなります。
 このことから、現在取り組んでいただいている資源物の分別精度の向上と、生ごみの水切りや自家処理（堆肥化等）の徹底が必要といえます。

もえるごみの組成 (21年10月調査)



しかし『平成23年に18年度比で20%削減』という目標達成のためには、毎年、前年比6%ずつの減量が必要。更に徹底した減量に取り組まなければなりません。
『ごみ減量』が必要なの？
 「新しいごみ処理施設があるから減量しなくてもいいのでは？」ということではありません。
 新しいごみ処理施設『エコパーク寒川』の1日の処理能力は35トン。40トンの

処理を行っていた旧クリンセンターに比べると焼却炉が小さなものとなっており、ごみ減量により施設を効率よく大切に使う必要がますます。今年完成したエコパーク寒川の焼却灰の埋立処理等をする最終処分場も、設計では15年間の使用を想定していますが、ごみの減量が進まないといふ使用年数が早まってしまふ可能性もあります。
 ごみ減量のためには『単なるごみ』と、『資源物』の分別が不可欠。今まで燃や

分別・資源化により20%のごみ減量を
 リサイクル率向上34%
 不法投棄・違法焼却の根絶

飯山市ごみ減量計画

「飯山市ごみ減量計画」の重点課題・基本方針等

- 重点課題
 - 環境への負荷の少ない循環型社会の構築
 - ①確実なごみ減量の実現
 - ②成果の啓発・教育
- 基本方針と目標
 - ①ごみの発生抑制 ごみ減量20% (18年度比)
 - ②分別リサイクルの推進 リサイクル率向上34%
 - ③不適正行為対策 不法投棄・違法焼却の根絶

飯山市のごみ処理の状況をふまえて『ごみ減量計画』策定
 飯山市のもえるごみ排出量は、平成15年度以降で最も多かったのが17年度。19年度には、17年度比で1%の排出量減を掲げ減量に取り組む、2.4%減を達成しました。しかし、同じ期間に人口も2.9%減少しており、1人あたりのごみの量は横ばい。大きな減量には至っていません。
 そんな状況から、市では平成19年7月に「飯山市廃棄物減量等推進審議会」を

家庭でも職場でも、ごみ・不用物をただ捨てるのではなく、ちよつと分別すること、ごみの減量と資源の有効利用になります。これを家庭から地域、職場から社会へと広げれば、大きな成果となるはず。今日、この瞬間からできることとして、ほんの少し「ずく」を出し、分別資源化・ごみ減量の取り組みを市民の輪として広げ、平成23年度にごみ減量計画の20%減量を達成しましょう。

段ボール式生ごみ堆肥化出前講習会
 開催をご希望の方は、5名以上のグループで市民環境課生活環境係(☎62-3111内線191・192)までお申し込みください。



もえるごみ排出量は1593・66トンで、昨年同期比2.9%の減少。各地区で実施している説明会などで市民の皆さんの意識が少しずつ高まっていることが成果として表れています。

平成21年度 上半期の家庭ごみ排出量

	排出量 (4月～9月)		上半期 対前年度比
	20年度	21年度	
もえるごみ	1,641,200	1,593,660	97.1%
もえないごみ	198,570	227,700	114.7%
合計	1,839,770	1,821,360	99.0%

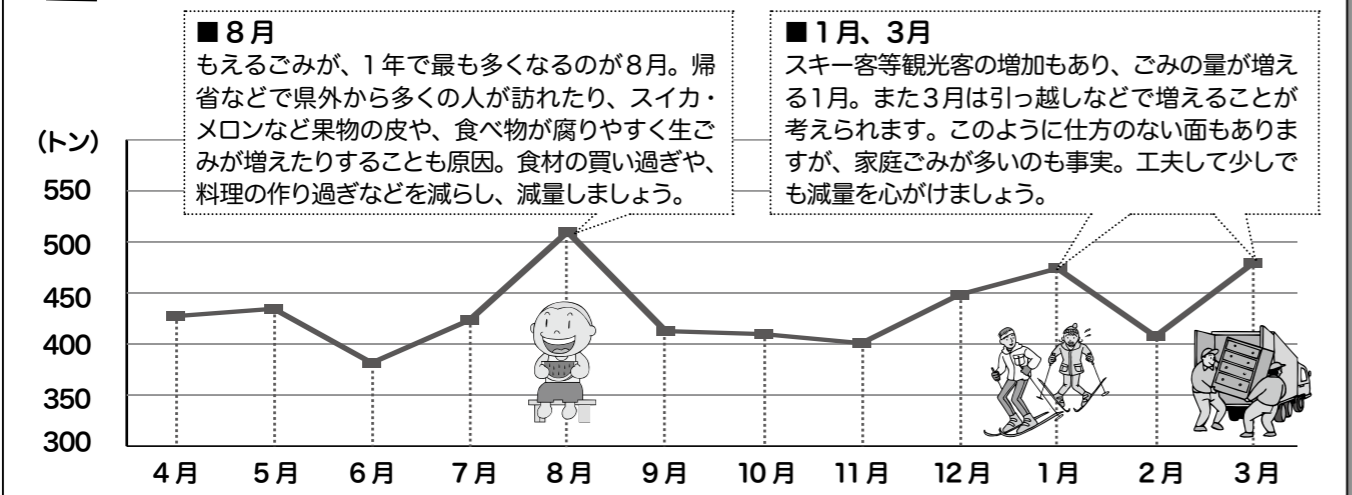
※「排出量」の単位はkg(キログラム)です。

設置し減量方法などについて審議。昨年10月の同審議会からの答申に基づき、今年3月、「飯山市ごみ減量計画」を策定しました。
上半期、各家庭からのもえるごみ排出量は？
 今年の上半期、平成21年4月～9月の、家庭ごみの排出量結果がまとまりました。

もえるごみ排出量の周期を意識して『ごみ減量20%』を達成しましょう！

1年間のもえるごみの排出量に周期があるのをご存知ですか。下のグラフは、この10年間の月ごともえるごみ排出量の平均をグラフにしたものです。こうして見ると、ごみ

の量が特に増える月がわかりますね。この特に量が増える時期を意識して、また改めて「資源物」と「生ごみ」の分別を意識し、集中してごみ減量に取り組むことで、20%減量を達成しましょう。



右のグラフは、平成18年度から20年度までのもえるごみ排出量の実績と、21年度から23年度までの目標値です。23年度に20%減量するためには、今年度から毎年、前年度比で約6%ずつごみを減量していくことが必要となります。

- 《1家族あたりで考えると…》
- ・20年度のもえるごみ排出量 392.89キロ
 - ・21年度の減量目標排出量 377.17キロ
 - ・1日あたりの減量目標 43グラム
- 1家族あたり1日43グラムずつ、燃えるごみを減らせば21年度の減量目標は達成！

